

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 1 インレーピンセット

【技術内容】

補綴治療などにおいて、ものを把持して移送する際に使用するピンセットのうち、インレー専用のピンセットである。

材質はステンレス鋼製である。

インレーは、う蝕や外傷により歯冠が部分的に欠損した場合に、その部分に適合した形状に製作した歯冠修復物のことをいう。インレーの材質は金属、セラミックス、レジンのいずれかで作製される。

インレーピンセットは先端部に細かな凹凸加工がなされており、インレーを掴んだ際に滑りにくくしたものである。

【図】

図1 インレーピンセット



図2 インレーピンセットの使用



【出典】

図1・図2： 刊行物名：「CATALOG of DENTAL INSTRUMENTS VOL.8」、発行年月日：不明、
発行者：小山歯科工業株式会社、出典箇所：7ページ、図番号：一番右の図「インレーピンセット」

【参考資料】

刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006年5月25日、編者名：宮崎 隆、中島 裕、河合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、参考箇所：176ページ

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 2 クラウンピンセット

【技術内容】

補綴治療において、ものを把持して移送する際に使用するピンセットのうち、クラウン専用のピンセットである。

材質はステンレス鋼製である。

クラウンとは練成充填物やインレー以外の歯冠補綴物の総称である。修復範囲と程度により、全部被覆冠、部分被覆冠、ポストクラウンに大別される。クラウンの材質は主に金属であるが、審美性を求めたものは金属とセラミックス、金属とレジンを組み合わせて作製される。

クラウンピンセットは先端部に細かな凹凸加工がなされた扁平状で、小さい孔が形成されており、クラウンを掴み易く、しかも、滑りにくくしたものである。

【図】

図1 クラウンピンセット



図2 クラウンピンセットの使用



【出典】

図1・図2： 刊行物名：「CATALOG of DENTAL INSTRUMENTS VOL.8」、発行年月日：不明、
発行者：小山歯科工業株式会社、出典箇所：8 ページ、図番号：一番左の図「クラウンピンセット」

【参考資料】

刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006年5月25日、編者名：宮崎 隆、中嶋 裕、河合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、参考箇所：176 ページ

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 3 ファイバーポストドリル

【技術内容】

補綴治療において、ファイバーポストで支台形成する際に、支台歯へポスト孔を形成するために使用するドリルである。

材質はステンレス鋼など金属製である。ファイバーポストドリルの先端の形状はファイバーポストの先端部のテーパ部分と同一となっており、ファイバーポストドリルで形成したポスト孔とファイバーポストが密に適合する構造となっている。

また、ドリルの先端には切削のための刃がない工夫がなされており、パーフォレーション（偶発的穿孔：accidental perforation）を引き起こす危険性を最低限に抑えた設計となっている。

【図】

図1 ファイバーポストドリル



図2 ファイバーポストドリルによるポスト孔形成



【出典】

図1： 刊行物名：「ジーシーファイバーポスト 支台築造用ファイバーポスト（専用カタログ）」、掲載日：2005年11月24日、発行者：株式会社ジーシー、出典箇所：4ページ、図番号：なし（下から2段目）、図面名称：「ジーシーファイバーポストドリル 単品包装」、検索日：2007年2月7日、

アドレス：<http://www.gcdental.co.jp/product/pdf/fiberpost.pdf>

図2： 刊行物名：「2006年度版ジーシー総合カタログ」、発行年月日：2006年2月、発行者：株式会社ジーシー、出典箇所：239ページ、図番号：なし（最上段・左）、図面名称：「ファイバーポストドリルで根管の最終形成を行う」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 4 インレー・クラウン固定器具

【技術内容】

補綴治療において、補綴物を支台歯へ合着させる際に使用する器具である。

材質はドライバー部分がステンレス鋼など金属製、先端のラバー部分がシリコンゴム製である。先端部が円盤状で、ここへピン付ラバーあるいはフラットラバーを装着する。

インレー合着時にはピン付ラバーとフラットラバーを一つずつ装着して使用する。クラウン合着時はフラットラバーを両面に装着して使用する。

補綴治療する歯にインレーあるいはクラウンを仮組みした後、このインレー・クラウン固定器具を咬合することにより、補綴物へ適当な圧力を負荷させることにより、支台歯への合着を容易にすることが可能である。

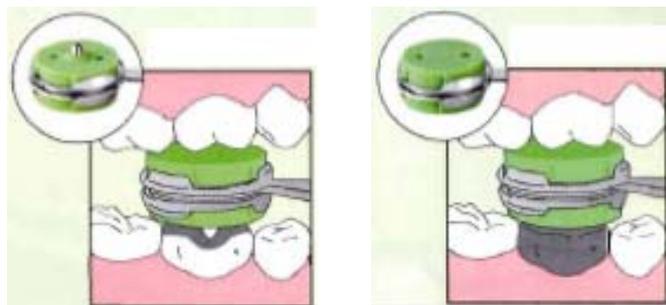
インレーあるいはクラウン接触面には合着の際に使用するセメントを除去し易いようにシリコンゴムが選択される。

【図】

図1 インレー・クラウン固定器具



図2 インレー・クラウン固定器具の使用方法



(a) インレーセット時

(b) クラウンセット時

【出典】

図1・図2： 刊行物：「General Catalog (総合カタログ) vol.14」、発行年月日：2005年10月、発行者：株式会社 YDM、出典箇所：32 ページ、図番号：なし、図面名称：「インレー・クラウンセッター」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 5 クラウン切込器具

【技術内容】

補綴治療において、既に支台歯へ合着されているクラウンを支台歯から撤去する際にクラウン側面に切込を入れる器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状ははさみに類似しており、先端部は、一方がクラウン上部を保持するために鋸歯のような形状、もう一方がクラウン側面に切込を入れる湾曲した刃の形状となっている。

クラウンスリッターのクラウン上部保持部分でクラウンを保持し、ハンドル部を握り込むことにより、先端部が閉じると同時にクラウン側面に切込が形成される。

【図】

図1 クラウン切込器具



【出典】

図1： 刊行物：「General Catalog(総合カタログ)vol.14」、発行年月日：2005年10月、発行者：株式会社YDM、出典箇所：96ページ、図番号：なし、図面名称：「クラウンスリッター」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 6 クラウン分割器具

【技術内容】

補綴治療において、既に支台歯に合着されているクラウンを支台歯から撤去する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状はプライヤーに類似しており、ハンドルを握ると先端が左右に均等に開く構造となっている。

クラウン切込器具などを使用して、クラウンの側面に切り込みを入れた後に、クラウン分割器具の先端部をその切り込み部に挿入してハンドル部を握り込むと、先端部が拡がり、クラウンの切り込み部を拡げて支台歯から撤去される。

【図】

図1 クラウン分割器具



図2 クラウン分割器具の動き



図3 クラウン分割器具の使用方法



【出典】

図1～図3： 刊行物：「General Catalog（総合カタログ）vol.14」、発行年月日：2005年10月、発行者：株式会社YDM、出典箇所：99ページ、図番号：なし、図面名称：「クラウンプリッティングプライヤー」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 7 クラウン撤去器具

【技術内容】

補綴治療において、既に支台歯に合着されているクラウンを支台歯から撤去する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状はドライバーに類似しており、先端部が段付形状に加工されている。先端部が曲げてあるものもある。

クラウン切込器具などを使用して、クラウンの側面に切り込みを入れた後に、クラウン撤去器具の先端部をその切り込み部に挿入して、こじるようにすると、クラウンの切り込み部分が拡がり支台歯から撤去される。

【図】

図1 クラウン撤去器具

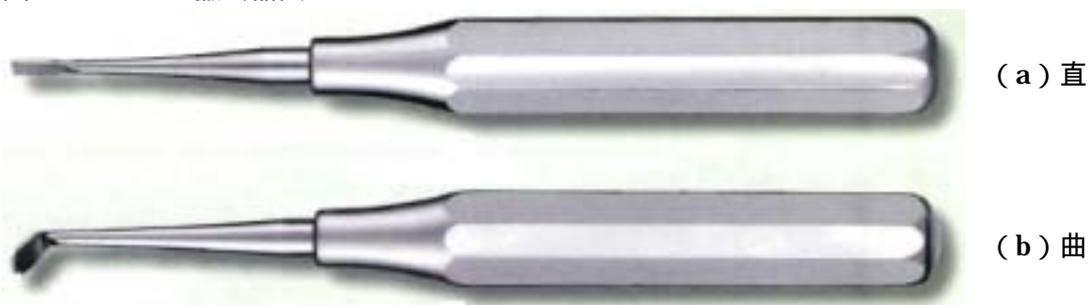
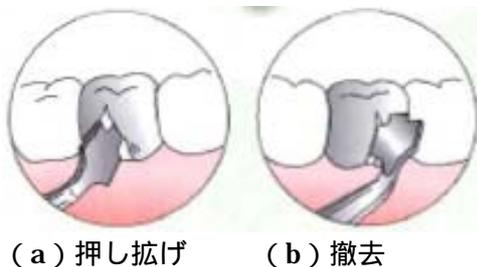


図2 クラウン撤去器具の使用法



【出典】

図1・図2： 刊行物：「General Catalog (総合カタログ) vol.14」、発行年月日：2005年10月、発行者：株式会社YDM、出典箇所：96ページ、図番号：なし、図面名称：「リムービングドライバ」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 8 スクリュピン・ポスト撤去鉗子

【技術内容】

補綴治療において、支台歯に埋入されているスクリュピンあるいはポストを撤去する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状はプライヤーに類似しており、先端部は小さくコンパクトな設計になっている。

先端内面部がスクリュピンあるいはポストを把持し易く、滑らないように、ギザギザに加工されている。

スクリュピン・ポスト撤去鉗子先端部でスクリュピンを把持し回転させて、スクリュピンあるいはポストを撤去する。

【図】

図 1 スクリュピン・ポスト撤去鉗子



図 2 スクリュピン・ポスト撤去鉗子の使用方法



【出典】

図 1・図 2： 刊行物：「General Catalog (総合カタログ) vol.14」、発行年月日：2005 年 10 月、発行者：株式会社 YDM、出典箇所：96 ページ、図番号：なし、図面名称：「スクリュポスト撤去鉗子」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 9 インレー・クラウン撤去器具

【技術内容】

補綴治療において、既に支台歯に合着されているクラウンあるいはインレーを支台歯から撤去する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状は鉤状のポイントとハンドルから構成されている。ポイントの先端部はいろいろな形状のものがあり、撤去するクラウンあるいはインレーの形状に合わせて選択する。

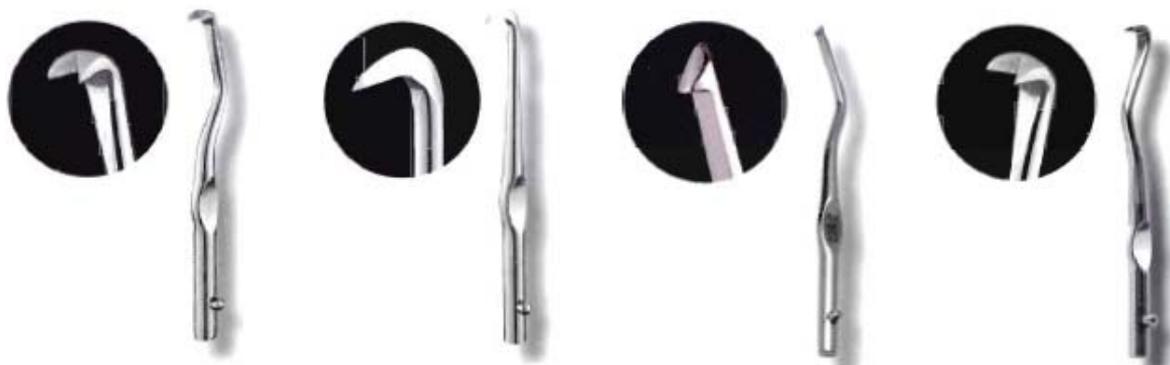
クラウンあるいはインレーの下端部にポイントの先端部の鉤状部分を引っ掛けて、振動を与えて徐々に撤去する。レバーを握るだけで振動を与えられるタイプのものもある。このタイプのものは振動の強弱の調整が可能な構造となっている。

【図】

図1 インレー・クラウン撤去器具



図2 インレー・クラウン撤去器具先端ユニットの形状



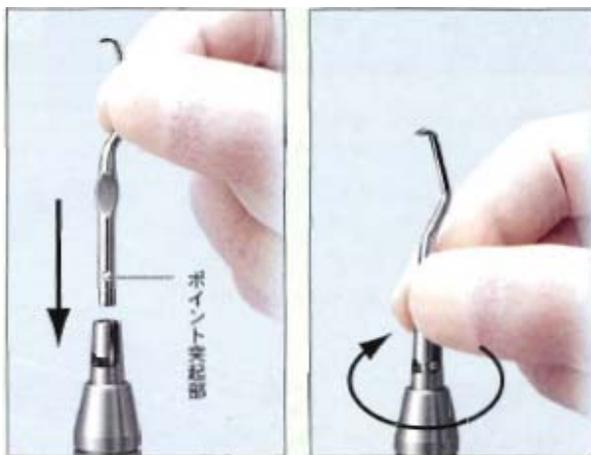
(a) ポイントW

(b) ポイントS

(c) クサビ型

(d) 頬側用

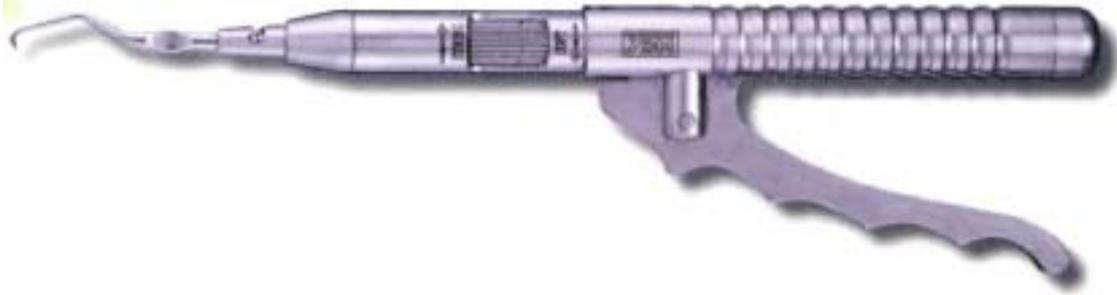
図3 インレー・クラウン撤去器具先端ユニットの脱着



(a) ユニットの挿入

(b) 回転して固定

図4 インレー・クラウン撤去器具（オートタイプ）



【出典】

図1～図3： 刊行物：「General Catalog（総合カタログ）vol.14」、発行年月日：2005年10月、
発行者：株式会社YDM、出典箇所：97ページ、図番号：なし、図面名称：「インレークラウン
リムーバー」

図4： 刊行物：「General Catalog（総合カタログ）vol.14」、発行年月日：2005年10月、発行者：
株式会社YDM、出典箇所：97ページ、図番号：なし、図面名称：「オートマチッククラウン
リムーバー」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 1 0 補綴物撤去ワイヤー

【技術内容】

補綴治療において、既に支台歯に合着されているブリッジあるいはクラウン、インプラントの上部構造を支台歯あるいはインプラントアバットメントから撤去する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。ワイヤーとフックから構成されている。フックの側面にはワイヤーを通して固定可能な溝加工がなされている。撤去する補綴物の大きさに合わせてワイヤーの長さを選択する。

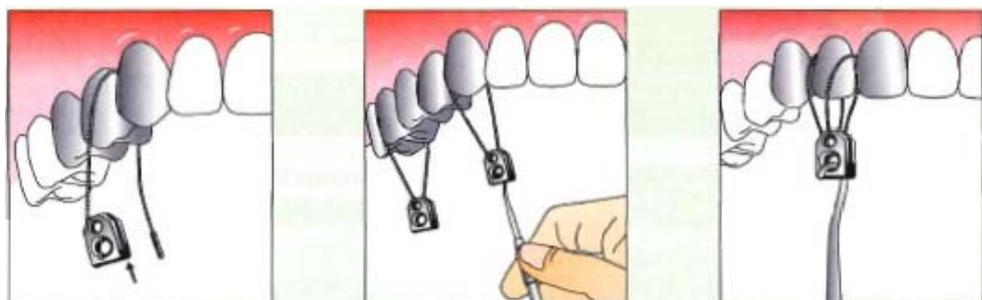
ブリッジあるいはクラウン、上部構造の一カ所ないしは数カ所にワイヤーを装着して、その後振動を与えて徐々に撤去するものである。

【図】

図 1 補綴物撤去ワイヤー



図 2 補綴物撤去ワイヤーの使用方法



(a) ワイヤー装着

(b) ループワイヤーS

(c) ループワイヤーL

【出典】

図 1・図 2： 刊行物：「General Catalog (総合カタログ) vol.14」、発行年月日：2005 年 10 月、発行者：株式会社 YDM、出典箇所：98 ページ、図番号：なし、図面名称：「ループワイヤーリムービングキット」

【技術分類】 9 - 1 - 1 補綴治療 / 補綴用器材 / 補綴用器具

【技術名称】 9 - 1 - 1 - 1 1 テンポラリークラウン撤去器具

【技術内容】

補綴治療において、既に支台歯に合着されているテンポラリークラウンを支台歯から撤去する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状はプライヤーに類似しており、先端部が鉤状に加工されており、合着されているテンポラリークラウンを把持し易い構造となっている。

テンポラリークラウンの下端部付近を先端の鉤で挟み込んだ後、少しずつ振動を与えて支台歯から撤去する。

【図】

図 1 テンポラリークラウン撤去プライヤー



図 2 テンポラリークラウン撤去プライヤーの使用法



【出典】

図 1・図 2： 刊行物：「General Catalog (総合カタログ) vol.14」、発行年月日：2005 年 10 月、発行者：株式会社 YDM、出典箇所：99 ページ、図番号：なし、図面名称：「テンポラリークラウン撤去プライヤー」